

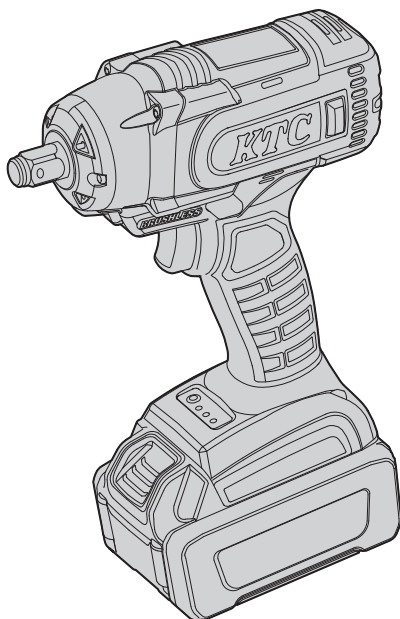
KTC

このたびは当社製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この取扱説明書をよくお読みいただき、安全にご利用ください。

12.7sq. ホイールナット専用 コードレストルクリミット インパクトレンチセット No.JTAE473A

取扱説明書

業務用



- 梱包内容をご確認いただき、不足、破損のある場合は、お求めの販売店まで申し出ください。
- この取扱説明書は、必要なときにすぐ読めるように、大切に保管してください。
- 第三者に譲渡・貸与される場合も、この取扱説明書を必ず添付してください。

販売者の名称・所在地: **京都機械工具株式会社**

〒613-0034 京都府久世郡久御山町佐山新開地 128 番地

本製品に関するお問い合わせは、お求めの販売店、もしくは、お客様窓口にご連絡ください。

お客様窓口



0774(46)4159



FAX 0774(46)4359



support@kyototool.co.jp

お電話での受付時間は 10:00~12:00 / 13:00~16:00 まで
(土・日・祝日及び弊社休業日は除く)

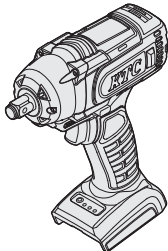
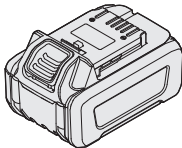
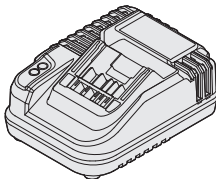
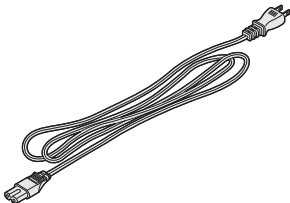
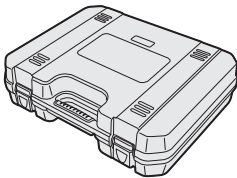
もくじ

製品の機能	3
梱包内容	3
製品仕様	3
■インパクトレンチ本体 No.JAE473	4
■バッテリーパック No.JBE18050K	5
■充電器 No.JHE180K	5
お使いになる前に	6
○バッテリーパックの充電	6
安全シグナルについて	6
安全上のご注意	6
本体の使用方法	8
■バッテリーパックの脱着	9
○バッテリーパックの取り外し	9
○バッテリーパックの装着	9
○充電する	10
○充電器ランプの見かた	11
○バッテリーインジケーターの見かた	11
■バッテリーパックについて	12
○長くお使いいただくために	12
○長時間ご使用にならないとき	12
○バッテリーパックの寿命	12
○バッテリーパックの廃棄	12
■インパクトレンチの使用方法	13
○インパクトレンチ用先端工具	13
○先端工具を取り付ける	14
○インパクトレンチを操作する	15
○仮締めモードの操作	16
■保管方法とメンテナンス	17
○作業が終わったら	17
○メンテナンス	17
■製品の廃棄について	17
故障かな？と思ったら	18

製品の機能

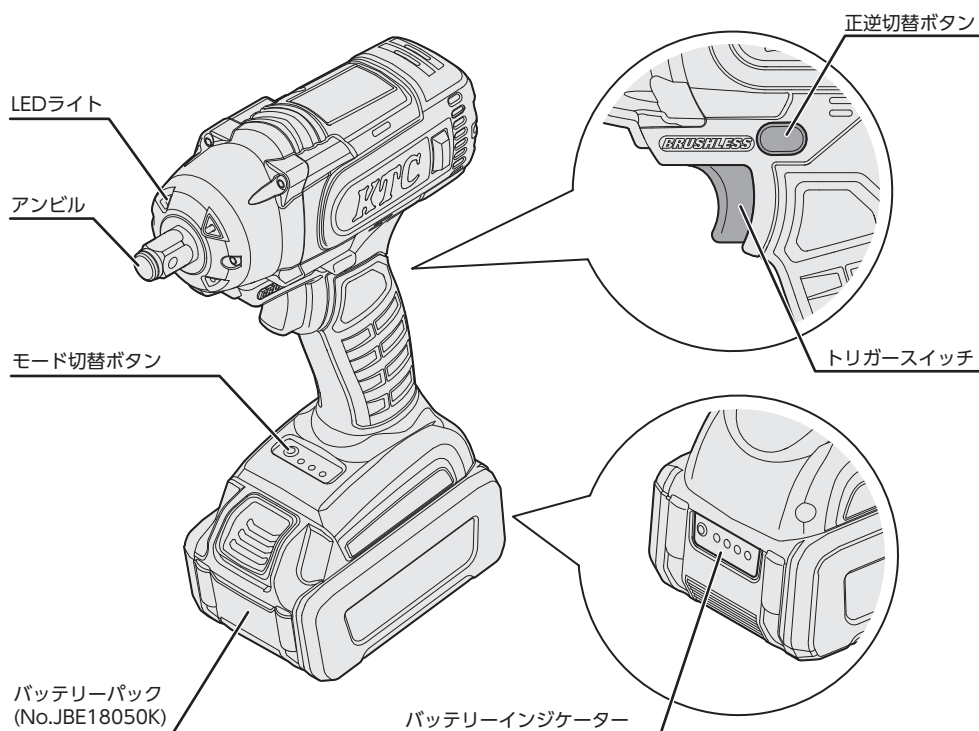
本製品は、自動車のホイールナットを緩めたり、仮締めしたりすることを目的とする、トルクリミット機能付きの電動コードレスインパクトレンチです。
その他の目的には、使用しないでください。

梱包内容

本体	バッテリーパック	充電器
		
電源コード	専用ケース	取扱説明書
		

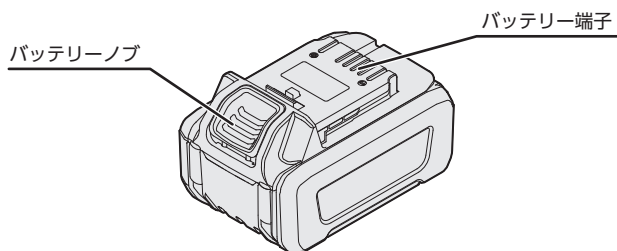
製品仕様

■インパクトレンチ本体 No.JAE473



方 式		コードレス充電式電動インパクトレンチ
入 力 電 圧		18V DC
適 用 ボ ル ト		自動車用ホイールナット M10 ～ M14 (六角ボルト M6～M16 = 10mm～24mm)
トルク	最 大	500N・m
	実 用	350N・m
無 負 荷 回 転 数		0～2200 rpm
ド ラ イ ブ 角		12.7sq.
寸法(長さx幅x高さ)		170mm x 76mm x 257mm
重 量		2.2 kg (バッテリー装着時)

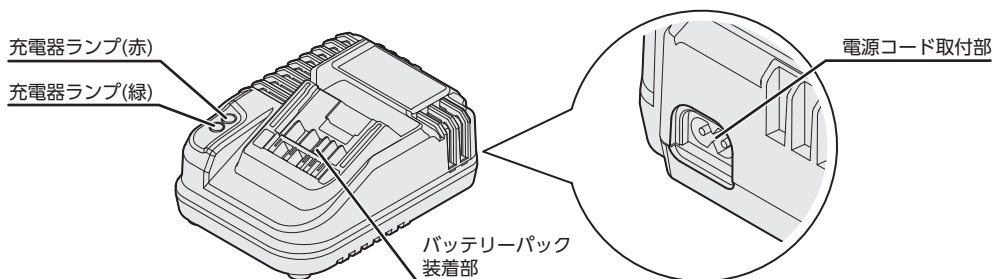
■ バッテリーパック No.JBE18050K



充 電 池	リチウムイオン電池
交 渉 電 圧 ・ 容 量	18V DC 5000mAh
充 電 時 間	135 分 ※
寸法(長さx幅x高さ)	118.9mm x 78mm x 68.7mm
重 量	0.8 kg
充 電 器	JHE180K (専用充電器)

※バッテリーパックの状態や充電されている環境により変化します。

■ 充電器 No.JHE180K



入 力 電 圧	AC 100V～240V
入 力 周 波 数	単相交流 50/60Hz 共用
出 力 電 圧	10.8V 14.4V 18V DC
出 力 電 流	3A(10.8V 14.4V) 2.3A(18V)
操 作 温 度	0 ～ 50℃
保 管 温 度	-20 ～ 70℃
寸法(長さx幅x高さ)	145mm x 108.9mm x 77.2mm
重 量	0.4 kg

お使いになる前に

○バッテリーパックの充電

ご購入時にバッテリーパックは充電されていません。ご使用前に必ず充電してください。



- ・充電は 0 ～ 50℃の場所で行う。
- ・バッテリーパックの温度が 0℃以下、または充電器が置かれている環境と大きく温度差がある場合は、バッテリーパックを充電器が置かれている環境で放置（1 時間以上）してから充電する。
- ・バッテリーパックを 2 個以上連続で充電する場合は、充電器が冷めるまで（30 分以上）充電を休止させる。

安全シグナルについて

この取扱説明書では、誤った使い方をしたときに発生する危害や損害の程度を、以下のように区分しています。



警告 誤った使い方をすると、死亡または重傷を負う可能性があります。



注意 誤った使い方をすると、負傷または器物損傷の原因となる可能性があります。

安全上のご注意

この取扱説明書には以下のマークを付けています。

拡大損害が予想される事項	必ず行う	使用前にこの「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しく使用してください。
禁止行為	分解禁止	



警告

死亡や重傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●専用バッテリーパック、充電器以外は使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●雨中や湿気の多い場所で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●ぬれた手で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●可燃性ガスや液体のある場所で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●点検および保管時は、バッテリーパックを本体から取り外す。	ケガや器物破損の原因になる。
	●本体を持って移動するときは、トリガースイッチに指をかけない。	ケガや器物破損の原因になる。



警告

死亡や重傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●暗い場所で作業を行わない。	ケガや器物破損の原因になる。
	●保護めがねや保護マスク、耳栓などの保護具を使用する。	ケガや器物破損の原因になる。
	●作業対象物を必ず固定する。	ケガや器物破損の原因になる。
	●バッテリーパックの装着は、トリガースイッチを切った状態で行う。	ケガや器物破損の原因になる。
	●バッテリーパックを火中に投入しない。	破裂や有害物質発生の原因になる。



注意

ケガや器物損傷の原因となる。

絵表示	重要事項	危害・損害
	●分解および改造をしない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
	●保守点検を必ず行う。	ケガや破損の原因になる。
	●本体に亀裂や破損が無いか確認する。	ケガや破損の原因になる。
	●小さい子供がふれない所に保管する。	ケガや破損の原因になる。
	●トリガースイッチで始動、停止のできない製品は使用を中止する。	ケガや破損の原因になる。
	●本体が熱くなったり、異常を感じたら使用を中止する。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●本体に落下などの強い衝撃を与えない。	本体の破損や器物損傷のおそれがある。
	●本体を投げない。	本体の破損や器物損傷のおそれがある。
	●直射日光の当たる場所や熱機器の近くなど、高温の場所には放置しない。	破損の原因になる。
	●水の中に落したり、水の中に放置したりしない。	破損の原因になる。
	●取扱説明書に記載している以外の用途には、使用しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●化学薬品、海水、水分などを付着させたまま放置しない。	破損の原因になる。
	●本体に油やグリースが付いた状態で使用しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
	●本体、バッテリーパック、充電器に異物が混入しないようにする。	ケガや本体の破損、器物損傷のおそれがある。
	●修理は、必ず購入した販売店に依頼する。	ケガや器物損傷の原因になる。

本体の使用方法

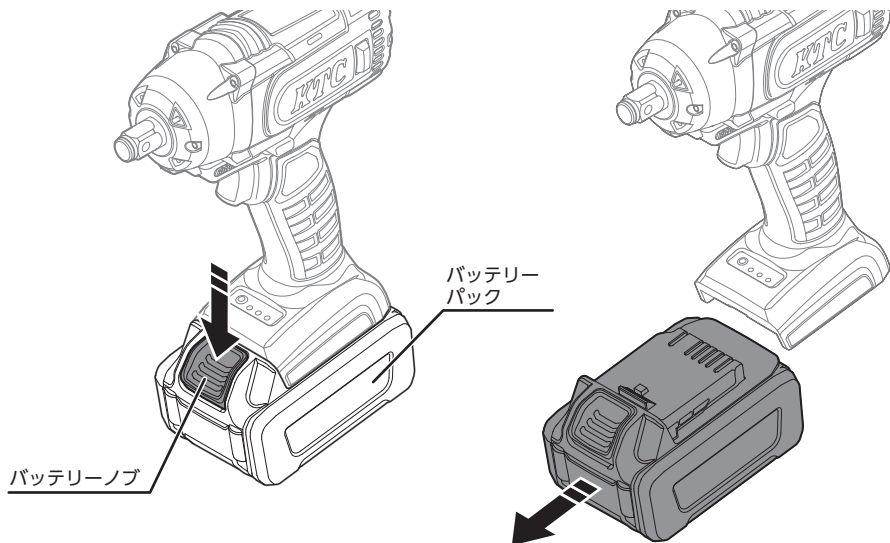
けいこく 警告 死亡や重傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
!	●電池が液漏れしたり、異臭がしたりするときは使用を中止する。	発熱、破裂などのおそれがある。万が一、電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流す。
⊘	●分解および改造をしない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
⊘	●バッテリーパックに衝撃を加えない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
⊘	●専用の充電器以外は使用しない。	ケガや器物損傷の原因になる。
⊘	●充電時間が極端に短くなったバッテリーパックは使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
⊘	●ぬれた手で使用しない。	感電による死亡や重傷の原因になる。
⊘	●充電中に布や可燃物で覆わない。	火災や器物損傷の原因になる。
⊘	●バッテリーパックの端子間を短絡させない。	火災や器物損傷の原因になる。
!	●電源コードに異常が見られる場合は、使用を中止する。	ケガや器物損傷の原因になる。

ちゅうい 注意 ケガや器物損傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
!	●充電器を使用しないときは、電源プラグを持ってコンセントから抜く。	ケガや破損の原因になる。
!	●充電器は、必ず100Vの電源を使用する。	ケガや破損の原因になる。
!	●電源コードは、定期的に点検する。	ケガや破損の原因になる。
⊘	●直流電源やエンジン発電機に充電器を接続しない。	ケガや破損の原因になる。
⊘	●温度が0℃未満、または50℃以上の環境で充電を行わない。	ケガや破損の原因になる。
⊘	●充電器の電源コードを持って運ばない。	破損の原因になる。
⊘	●電源コードを熱源に近づけない。	破損の原因になる。
!	●バッテリーおよび本体の端子部にキズやホコリが付かないようにする。	破損の原因になる。

■バッテリーパックの脱着

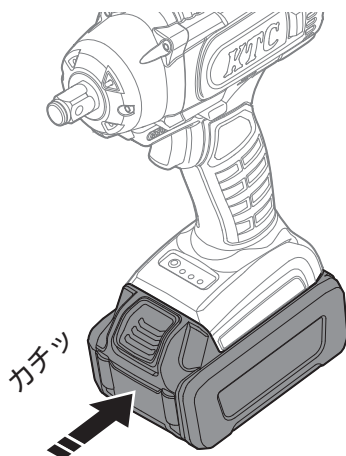
○バッテリーパックの取り外し

バッテリーノブを押しながら、バッテリーパックを前方に引き出す。



○バッテリーパックの装着

- ①バッテリーパックを本体に装着する。
- ②バッテリーノブのロックがかかったことを確認する。(カチッと音がる)

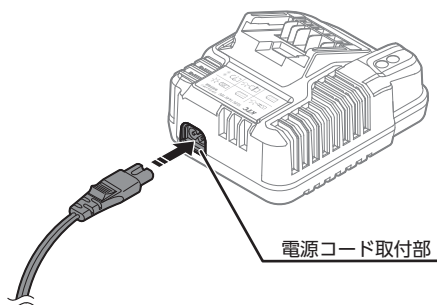


- ・本体の端子部に異物がないことを確認する。
- ・バッテリーパックがスムーズに装着できない場合は、無理に装着せず、購入した販売店に修理を依頼する。

■バッテリーパックの充電

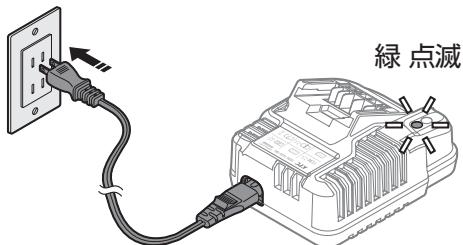
○充電する

- ①充電器の電源コード取付部に、電源コードのコネクタを差し込む。



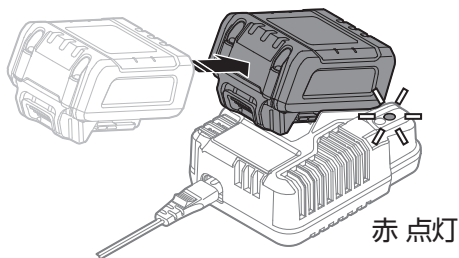
- ②コンセントに、電源コードの電源プラグを差し込む。

充電器の緑色 LED が点滅します。

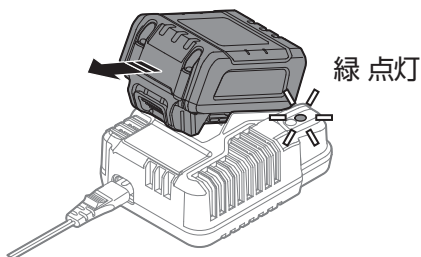


- ③バッテリーパックおよび充電器の端子部に異物がないことを確認し、充電器のバッテリーパック装着部にバッテリーパックを差し込む。

充電器の赤色 LED が点灯します。

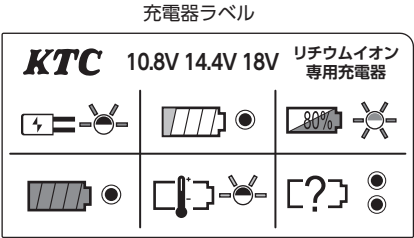
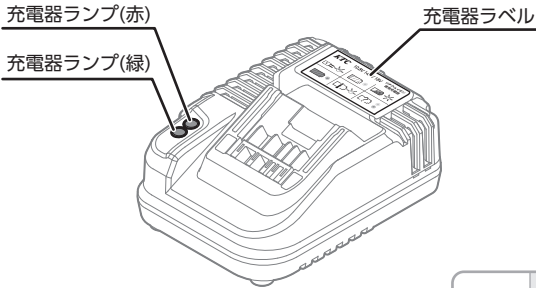


- ④充電器の緑色 LED が点灯し、充電が完了したら、充電器からバッテリーパックを引き抜く。



○充電器ランプの見かた

充電時は、以下の方法で充電状態を示します。



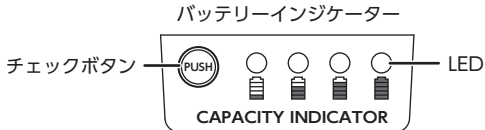
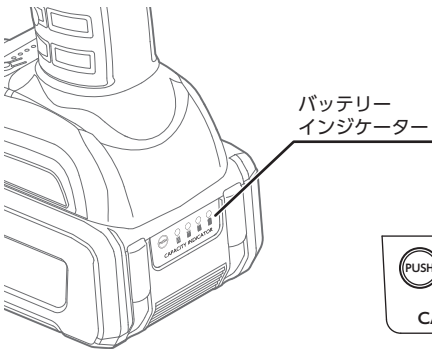
充電器ランプの見かた



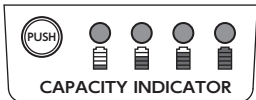
ランプ		アイコン	内 容	充電器およびバッテリーパックの状態
緑	赤			
●●			通電中 (スタンバイ)	充電器に電源が入っています。
	—		充電中	正常に充電中です。
●●●			80%充電完了	
	—		充電完了	正常に充電が完了しました。
	●●		バッテリーパック 温度異常	バッテリーパックの温度が異常です。適正な温度になってから充電してください。
—	—		バッテリーパック 不明	バッテリーパックの故障か、正規のバッテリーではありません。

○バッテリーインジケータの見かた

バッテリーパックにあるインジケータは、チェックボタンを押すことで、その時点のバッテリーの状態を表示します。



満充電時



要充電時



■バッテリーパックについて

○長くお使いいただくために

- ・バッテリーパックを使用しないときは、ホコリが付かない場所で保管してください。
- ・短絡させないように保管してください。

○長時間ご使用にならないとき

- ・バッテリーを 80% 程度充電した状態で、保管してください。保管中も6ヶ月に一回程度、バッテリーを充電してください。

○バッテリーパックの寿命

- ・満充電しても、ご購入後と比較して半分程度の作業しかできなくなったときは、バッテリーパックの寿命です。新しいバッテリーパックをお買い求めください。バッテリーパックは、消耗品扱いとなります。

○バッテリーパックの廃棄

- ・本製品に使用しているリチウムイオン電池は、リサイクル可能な貴重な資源です。ご使用済みのバッテリーパックは廃棄せず、リサイクル協力店までお持ちください。



- ・バッテリーパックを火中に投入しない。



- ・バッテリーパックを廃棄するときは、テープなどを使用し、短絡防止の措置をとる。

■インパクトレンチの使用方法

 警告 けい こく 死亡や重傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
	●本体を確実に保持する。	ケガや器物破損の原因になる。
	●回転する先端に顔や手を近づけない。	ケガの原因になる。
	●長時間の連続作業はしない。	本体の温度上昇で、ケガや器物破損の原因になる。
	●密閉された空間で使用しない。	発煙、発火、破裂のおそれがある。

 注意 ちゅう い ケガや器物損傷の原因となる。		
絵表示	重要事項	危害・損害
	●先端工具は、取扱説明書に従い、確実に取り付け。	ケガや器物破損の原因になる。
	●軍手などの巻き込みのおそれがあるものは使用しない。	ケガや器物破損の原因になる。
	●スカーフやネクタイなどの巻き込みのおそれがあるものは着用しない。	ケガや器物破損の原因になる。
	●空回転させない。	ケガや器物破損の原因になる。
	●本体から出る空気に触れない。	火傷やケガの原因になる。
	●締め付け後は、トルクレンチで確認する。	規定トルクが指定されているものは、トルクレンチを使用する。

○インパクトレンチ用先端工具

ホイールナットのサイズにあった、インパクトレンチ用ソケット及びインパクトレンチ用ホイールナットソケットをご利用ください。

普通乗用車のホイールナット脱着推奨先端工具

KTC 品名	KTC 品番
12.7sq. インパクトレンチ用ソケット	BP4M-17TP, 19TP, 21TP, 22TP
12.7sq. インパクトレンチ用ホイールナットソケット	BP49-17, 19, 21, 22
12.7sq. インパクトレンチ用ホイールガードソケット	BP49-17G, 19G, 21G, 22G
12.7sq. インパクトレンチ用アルミホイール化粧ナットソケット	ABP4-17ALP, 19ALP, 21ALP

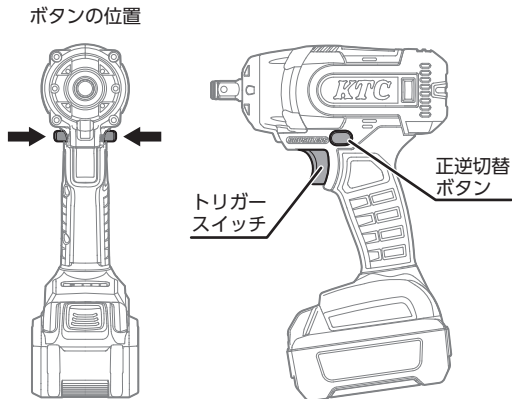
○先端工具を取り付ける

1. トリガースイッチをロックする。

正逆切替スイッチを中央で止め、
トリガースイッチをロックする。



- ・先端工具を取り付ける前に、トリガースイッチがロックされていることを確認する。



2. 先端工具を取り付ける。

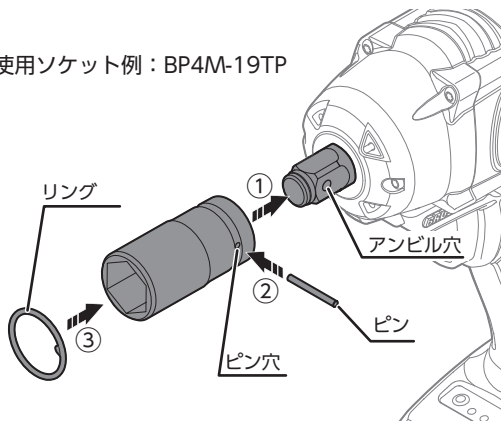
《ピン・リングを使用する場合》

①ソケットのピン穴とアンビル穴の位置を合わせて取り付ける。

②ピンを挿入する。

③リング内側の突起をピン穴に入れるように取り付け、ピン抜けを防止する。

使用ソケット例：BP4M-19TP

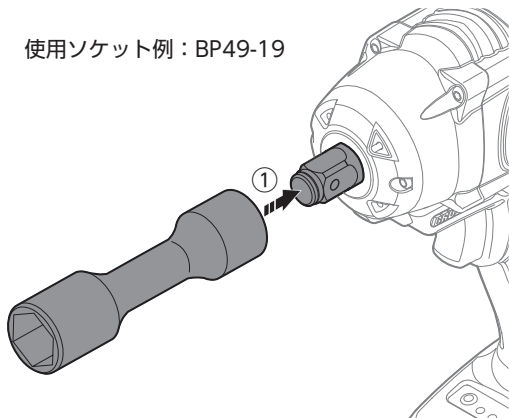


- ・ピンが飛び出さないようにリングが装着されているか確認する。

《ピン・リングを使用しない場合》

①アンビルにソケットを取り付ける。

使用ソケット例：BP49-19



- ・ソケットが容易に外れないか確認する。

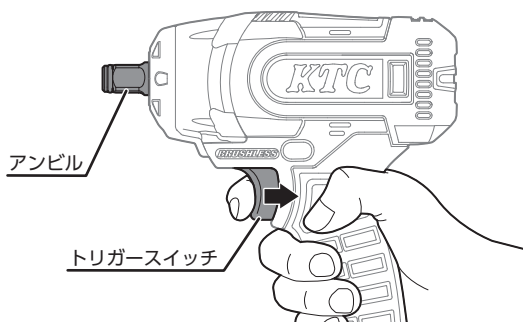
○インパクトレンチを操作する

トリガースイッチの操作

トリガースイッチを引くことでアンビルが回転します。

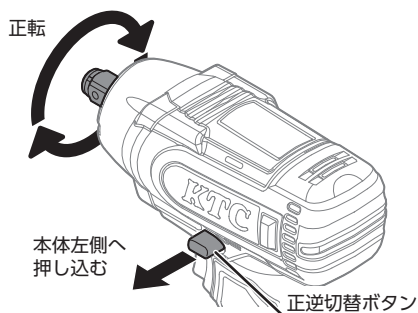


- ・正逆切替ボタンはモーターが完全に停止してから操作する。



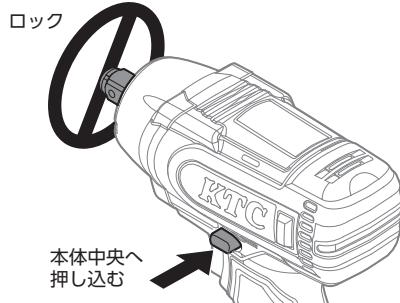
回転方法の切り替え (正転)

正逆切替ボタンを左側へと押し込むことで、アンビルが正転方向に切り替わります。



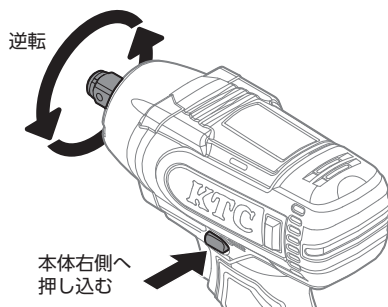
回転方法の切り替え (ロック)

インパクトレンチのトリガースイッチをロックする。



回転方法の切り替え (逆転)

正逆切替ボタンを右側へと押し込むことで、アンビルが逆転方向に切り替わります。



注意

- ・3 秒以上逆転させてもホイールナットが緩まない場合、ホイールナットが過大なトルクで締め付けられている恐れがあります。そのまま無理に逆転を続けると、本体故障の原因になります。

○仮締めモードの操作

モード切替ボタンを操作することで、インパクトレンチを3段階のモードに切り替えることができます。

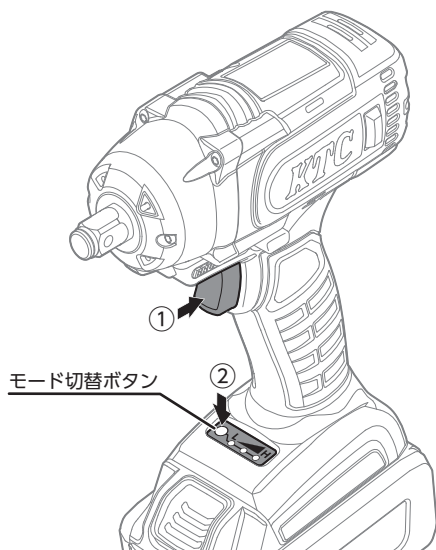
モードの切り替え

- ①トリガースイッチを軽く引き、本体の電源を入れる。(モード切替のLEDが点灯します。)
- ②モード切替ボタンを押し、任意のモードに切り替える。



注意

・仮締めモードは、正逆切替スイッチが正転方向のときのみ機能します。



モードの見かた

《仮締めモード1》

仮締めモード1のときは、LEDが1つ点灯し、アンビルの回転は約75N・mで停止します。

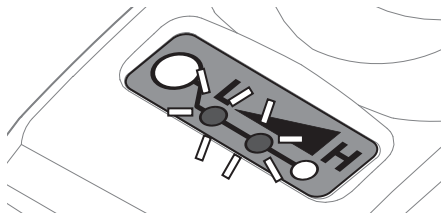
仮締めモード1 (約75N・m)



《仮締めモード2》

仮締めモード2のときは、LEDが2つ点灯し、アンビルの回転は約100N・mで停止します。

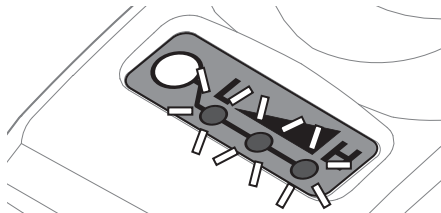
仮締めモード2 (約100N・m)



《フルパワーモード》

フルパワーモードのときは、LEDが3つ点灯し、アンビルは最大トルクで回転します。

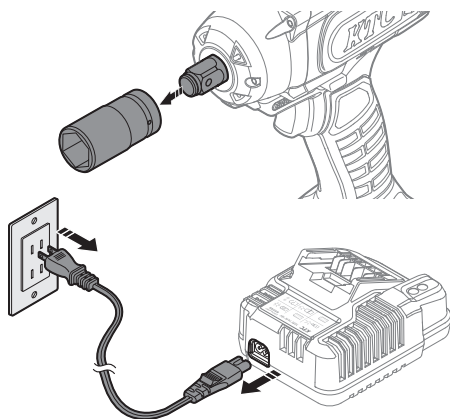
フルパワーモード



■保管方法とメンテナンス

○作業が終わったら

- ①本体の正逆切替ボタンをロック位置にする。
- ②先端工具を取り外す。
- ③充電器から電源コードのコネクタを抜く。
- ④コンセントから電源コードの電源プラグを抜く。
- ⑤専用ケースに入れ保管する。



- ・ゴミ、ホコリの多い場所・溶剤などの引火物のある場所では保管しない。
- ・子供の手が届く場所・自動車の車内・直射日光が当たる場所・多湿な場所では保管しない。
- ・ホコリの付かない場所で保管する。

○メンテナンス

《本体の汚れ》

本体およびバッテリー、充電器が汚れた場合は、バッテリーを外した状態で、柔らかい布などを使用し、ふき取る。

《各部の点検》

バッテリーを外した状態で、各部ねじの緩み、充電器の電源コードなどの亀裂、破損などの異常がないか、定期的に点検する。



- 本体およびバッテリー、充電器のふき取り
 - ・ぬれた布やシンナー、アルコール、ベンジンなど揮発性のもので本体をふかない。
- 充電器、バッテリーパック
 - ・充電器は、必ずコンセントから電源コードを抜いてメンテナンスを行う。
 - ・端子部にゴミやホコリが付着している場合は、非金属製ブラシなどを使用して、端子部に無理な力がかからないように気を付けて取り除く。

■製品の廃棄について

本製品を廃棄するときは、廃棄する地域の自治体の条例に従い、適切に処理してください。

故障かな？と思ったら

修理を依頼される前に、下記の点検をお願いします。

症 状	考えられる原因	対処の方法
動作が途中で停止する。	本体が高温になり、保護機能が働いている。	作業を中断し、本体の温度が下がってから使用する。
動作が途中で停止する。 バッテリーパックが温度異常（パワーインジケーターがすべて点滅する）。	バッテリーパックが高温になり、保護機能が働いている。	作業を中断し、バッテリーパックの温度が下がってから使用する。
動かない。または動いてもすぐ止まる（パワーインジケーターのLED1個が点滅する）。	バッテリーパックを充電していない。	充電する。
動かない。トリガースイッチを引いても操作できない。	バッテリーパックと本体の接点部にゴミが付着している。	ゴミを取り除く。
	バッテリーパックが故障している。	新しいバッテリーパックに交換する。
満充電しているのに締付トルクが弱い。または回転が遅い。	バッテリーパックの寿命。	新しいバッテリーパックに交換する。
	バッテリーパックの残量が少なくなった。	充電する。
	バッテリーパックを長期間放置していた。または購入したばかりである。	充電する。
	温度が低い場所（0℃以下）で保管したバッテリーパックを使用した。	バッテリーパックの温度が、0～50℃になってから再度充電する。
トリガースイッチを離すと異音が生じて停止する。	ブレーキの動作音。	故障ではない。



上記の対処方法を実施しても症状が改善されない場合は、直ちに使用を中止する。

修理を依頼される前に、下記の点検をお願いします。

症 状

コンセントに電源コードの電源プラグを差し込んでも、通電中（スタンバイ）（緑色LEDが遅い点滅）にならない。

日常使用しているバッテリーパックが充電開始後 1.5 時間以上充電しても、充電完了（緑色点灯）にならない。

長期間使用していなかったバッテリーパックが充電開始後 4 時間以上充電しても、充電完了（緑色 LED が点灯）にならない。



上記の対処方法を実施しても症状が改善されない場合は、直ちに使用を中止する。

各部の点検で、症状の改善が見られない場合は、

本体・バッテリーパック・充電器

をセットで、ご購入の販売店または KTC 取扱店に修理
を依頼してください。

